

○令和2年度 地方発明表彰「文部科学大臣賞」受賞（業績概要）

発明名	水の流れを利用した水中酸素溶解方法と装置
受賞者	安原環境テクノロジー株式会社（柳井市） 代表取締役 安原 隆浩（51歳） 大内 光徳（65歳）
<p><発明概要></p> <p>上方から下方に流れる複数の水流を組合せて不規則な流れを作り、流れの各所に形状・サイズの異なる空洞を形成させると同時に、流水中の圧力変化を誘発させて大気を流れの中に取り込み、水中に効率的かつ低エネルギーで大気中の酸素を溶解させる方法。</p> <p>当該技術は、酸素を水中に溶解させるための動力が水を上方に運ぶポンプのみで、「ばっき法」と比べ、低エネルギーで水中への酸素溶解が可能であり、単位水量あたりに酸素を溶解させるために必要な電力消費量が少なくできる。</p> <p>既存の養殖場や排水浄化設備等で利用されている酸素溶解装置「ばっき装置」と代えることで、大幅に電力消費を削減でき、企業収益に貢献できる。</p>	

《参考》地方発明表彰 文部科学大臣賞の概要

1 趣 旨

- ・各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として、大正10年に開始された。
- ・実施されている優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者、研究開発者等を顕彰している。
- ・企業等からの応募により、学識経験者及び主催者が構成される地方発明表彰選考委員会における審査・選考を経て受賞者を決定する。

2 中国地方発明表彰の受賞者（R2年度）

中央三賞	文部科学大臣賞	1	その他	中国経済産業局長賞	1
	特許庁長官賞	1		日本弁理士会会長賞	1
				発明協会会長賞	1
				県知事賞	5
	中小企業庁長官賞	1		各県発明協会会長賞	4
発明奨励賞			10		

※10/26に伝達式を実施済

※山口県からは5年ぶりに中央三賞である文部科学大臣賞を受賞